

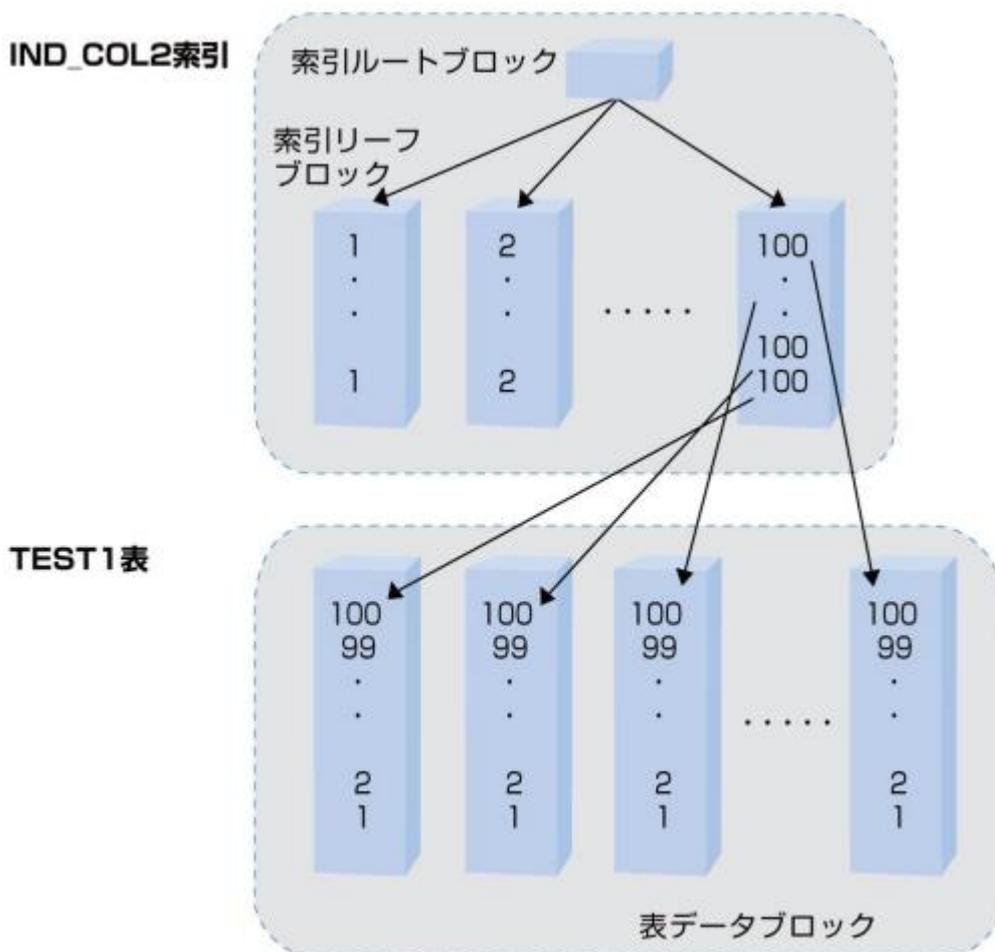
クラスタリング ファクタ

クラスタリング ファクタ：

インデックスが隣り合ったレコードが、テーブルでの表ブロックが異なるブロックに保存されているときにカウントされる指標

この値が大きいと、インデックスを読み込んだ件数分、データを読み込むことになる
すなわち、同一インデックスの値で複数のレコードが存在しても、別々の D/B ブロック
にレコードが保存されていることになる

インデックスを利用して索引部分を先に読んだ後のテーブルの実レコード
の読み込み処理が、すべての表をシングルブロックリードで読む例



この場合は、テーブルへのフルスキャンの方が効率が良い
Select /*+ FULL(TEST1)*/ count (col1) From test1 Where col2 = 100